

国部共同作業所  
東京都杉井部(12)3249  
07716

## 精神医療と作業所の役割

筆頭保健所長 荒木 初治

精神医療の流れが入院治療から在宅通院治療へと変りつつある中で、再発防止、社会復帰の促進は大きな課題と成っており、先に厚生省がまとめた精神衛生法改正案要綱においても社会復帰促進のための規定が盛り込まれたところであり、しかしながら、精神障害者の社会復帰には多くの困難な問題があるのが現状でもあります。このようなかた、精神障害者の在宅ケア施設としての共同作業所

の役割はますます重要なるものとなってきています。特に地元には精神科医療機関の稀少な南丹地域で、国部共同作業所は精神障害者の社会適応を促進するたための不可欠な存在となっております。国部共同作業所へは、現在南丹地域から八名が通所し、また、過去二年間で二十一名が利用しており、就労のためのトレーニングの場としておける他、機関へのフォローアップの場として、



多様な機能を果たしていただいているところであり、また、昨年にはこうした作業所の機能を理解され、評価された南丹地域の御家族が、南丹の精神障害者の福祉を考えた合志として家族会を結成し、活動に活動されておられる中で、安心して子供を育てるための施設が、御家族の切実な願いをその実現のために力を合わせて努力されておられるところでもあります。申すまでもなく精神衛生対策の推進にあたっては、医療機関と家庭、作業所・行政機関の緊密な

連携が極めて大切であり、その意味で当所としてお話ししても更に作業と連携を強め、精神障害者の社会復帰対策がより一層促進されるよう協力していかたいと思っております。

### ありがと

- ▼ 瑞穂社協 ▼ 恩善の会
  - ▼ 片山左一様
  - ▼ 中南慶太郎様
  - ▼ 八木社協
  - ▼ 八木町民生児童委員 菅原 人部
  - ▼ ワゴン車(京都村共同基金)
  - ▼ 京都新聞福祉委員会
- 以上の方々の金品の三寄付を頂きました。(561,415円) (562,315円まで)



国部共同作業所へお世話になりました。仲間になり、今年目になるまで社会に一回も出て来ないおれにとって、最初の頃は見るもの、聞くものなど、新鮮であった。又、所長さんより初めてお給料を頂いた時の感激は今でも、さりとて覚えている。二の四年間、グラフィックもあつたが、お陰様で今ではコンスタントに出来る様になり、一般の企業に一日も早く就職出来る様、これから頑張るつもりでいる。 M・K

久々に我職場を訪れ、なごやかな雰囲気、我が心もほぐさず、



